

バックカントリーエリアにおける ウィンタースポーツは危険です

見渡す限りの銀世界、北海道の冬山には大きな魅力があります。
しかし、バックカントリーエリアでのウィンタースポーツは、

常に危険と隣り合わせ

であることを忘れてはいませんか？

北海道の自然を楽しむために、次の点に注意しましょう。

▶ その1 天候・雪崩状況の確認

- 風や雪の注意報、警報は出していないか。
- 雪崩の危険性は高くないか。
- 最新の天気予報を確認する手段はあるか。

▶ その2 地形・ルートの確認

- 自分の技術、体力に見合ったルートか。
- 入山から下山までの行動をイメージできているか。

▶ その3 冬山装備で入山

- 冬山三種の神器(ビーコン、プローブ、スコップ)を持っているか。
- 悪天候の条件下でも耐えられる装備と食料を持っているか。
- 携帯GPSや携帯電話等の通信機器、予備電池は持ったか。

▶ その4 登山計画書の提出

- 単独行動はしない。同行者はいるか。
- 登山計画に無理がないか。登山計画書を提出したか。

▶ その5 撤退する勇気

- 悪天候、視界不良時に撤退する覚悟はあるか。
- 万一の遭難に際して、命を守る行動を知っているか。

軽い気持ちで行くと・・・

迷う!

例年、方向を見失って遭難する人がいます
山中は携帯の電波が届かないエリアがあります

埋まる!

圧雪されていない斜面では、雪崩が発生します
雪崩に埋没すると抜け出せず命を落とすことも・・・

けがをする!

バランスを崩して立木に衝突したり、
転倒してけがをすることも・・・

危険がいつぱいは
バックカントリーは

スキー場利用者へ

冬山登山の装備を持たずにスキー場の管理区域
外(バックカントリー)に出ることは、大変危険です。
自分のため、家族のため、大切な人のために、安
易な行動はやめましょう。



悪天候だとヘリコプター
は救助に行けません
冬山での遭難は命を落と
す危険性があります



北海道警察旭川方面本部地域課

冬山登山の危険性

～ 冬山で遭難しないために ～



冬山は急激な気象変化や雪崩など、自然環境が厳しいため、小さなミスや油断が遭難を招くので、冬山登山は経験豊富な信頼できるリーダーとともに入山し、慎重に行動しましょう。

天候急変

冬山は天候が急変しやすいため、入山前に気象情報を確認し、悪天候の兆しがあるときには引き返す。

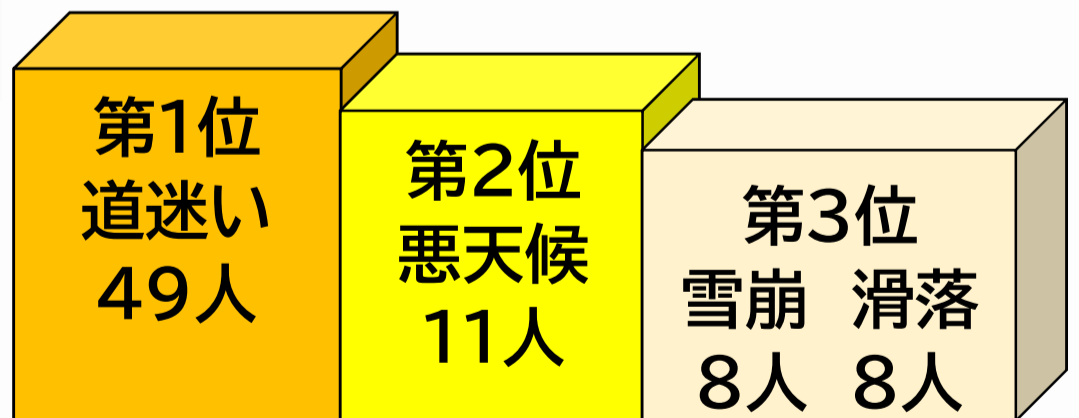
雪崩

雪山は雪崩の危険性があるため、雪崩対策装備(ビーコン、プローブ、シヨベル)を携行して行動する。

低体温症

体温が奪われると低体温症になるので、ウェアを正しく着用し、行動中はこまめなカロリーと水分の補給を。

冬山シーズンにおける遭難原因上位
(H29年～R3年の冬山シーズン、道北地方での遭難)



通信手段の確保

万ーに備えてスマホなどの通信機器を必ず携行しましょう。低温下ではバッテリーの寿命が短くなるので入山前に通信機器は満充電にし、予備バッテリーを持ちましょう。



冬山遭難防止

道迷い、雪崩、低体温症に注意!!

冬山の美しい景色には魅力がありますが、夏山とは自然環境が大きく異なり、冬山登山におけるリスクは格段に高いことから、次の点に注意し、入山中は慎重に行動しましょう。

冬山登山で遭難しないために

防寒対策と冬山装備の携行

- 防寒服、フリース、ダウンジャケット、保温性の高い手袋等の着用
- 冬山三種の神器（ビーコン、プローブ、ショベル）の携行
- 非常時に備えた装備（携帯GPS、スマートフォン、ツェルト）の携行

入念な計画と登山届の提出

登山計画書を活用して、無理のない余裕を持った行動計画を立てるとともに、入山前には最新の天気予報を確認しましょう。

登山計画書は旭川方面本部ホームページ「安全登山情報」からメールで提出することができます。